

<近況報告：令和3年年頭の抱負>

毎年恒例、仕事始めの日に新年の抱負を話してもらいました。順不同でご紹介！

(本社)

里：昨年6回目の年男も過ぎ、今年は無理せず穏やかな年になればと。

西村：昨年はコロナ禍でエントリーしていたマラソン大会が全て中止になり、練習もしていませんでしたが、正月の箱根駅伝を見て若い人の頑張る姿に刺激を受けましたので、再びジョギングからスタートして、マラソン大会に臨みたい。

河野(大)：昨年夏前ごろから体調に異変があり、10キロ以上痩せてしまいました。

体調は少しずつ回復に向かっていますが、バリバリ仕事ができるよう改めて健康管理に気を付けます。

津田：今年のテーマは「自覚」。以前は常用の作業員でしたが、昨年より社員の一員になりましたので、社員としての自覚をもって仕事に臨みたいと思います。

河野(育)：公私とも、自分がお役に立てることを無理のない範囲で、頑張っておこなうと思っています。

そして、いろんなことを素直に取り入れたり、感じたりしたい。

向井：何回目かは秘密ですが年女と入社10年目を迎えました。ダブル節目の年ですので、スペシャルな年を楽しみたいです。

河野(清)：今年は次男が小学6年生で、1年生から6年間やってきたサッカーが最後の年になるかもしれないので、応援に専念したいと思います。あと、昨年からはじめたウォーキングにはまっているので、今年もウォーキングで健康管理をしたいです。

(廿日市店)

宮本：「我が家の、間仕切り変更今年こそは完成させる！！」

子供部屋の数が足りない我が家、2階の間仕切り変更をはじめて何年たったかよくわかりませんが、このままでは材料だけが放置され材料部屋のままになってしまうので、コロナで子供の野球もバスケットもない今年こそ頑張ります。

中谷：仕事面では、いろんなことに挑戦してみる。(廿日市では職人さんがすぐに来れないことがあるから)

その他では、そろそろガールフレンドをみつけます。

竹内：今年の抱負ですが、これと言って特別なことはありません。

健康であれば何でもできるのでは？

山中：ウォーキング一日8000歩と腹筋、足上げ運動などを、少しでも毎日続けること、

そして、食事の量を減らして、、(これがなかなかできない、、)ダイエットに繋げていきたいと思っています！

河野(啓)：今年の11月で私も65歳を迎え、いよいよ高齢者の仲間入りをさせていただきます。振り返れば19年前に社長になって以来、前ばかり見て走ってきたように思いますが、皆様のおかげで大過なく社業を継続することができました。これからも、昨年の抱負の“驕らず、怯まず、捉われず”に、“慎重に”を付け加えて、前だけでなく、しっかりと足元を見据えて、コロナ禍に負けない一年にしたいと思います。

さて、皆さん各自の抱負いかがだったでしょうか？やはり、それなりのお年の方は“健康”がキーワードですかね。子育て世代の宮本君は4人のお子さんも大きくなって、それぞれの部屋を欲しがっている様子が伝わってきますね！

独身の中谷君、最近、宮園や四季が丘での現場で奥様方から「中谷君は独身？」とよく聞かれるとか、いよいよその気になってきたんですかね？

この原稿を書いている1月末ですが、まだまだ凍結修理の復旧にサービス担当の里さんは追われている状況で、廿日市店の竹内君も応援に入ってくれるなど、シニアメンバーが頑張っておこなっている状況です。

以上12名プラス春から新人の伊藤君を迎えて13名の体制で本年も一同頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。(啓)



河野



みなさんこんにちは！令和3年最初の「住まいる通信」ですので、少々遅くなりましたが
皆様、本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

上の写真は、前号でお約束しました元旦の初日の出です。日の出の時間が7時16分とのことでしたので、自宅からウォーキングがてら初日の出の写真を撮るべく意気込んで出かけました。5分前に撮影場所まで日の出を待つのですが、残念なことに日の出の位置に雲がかかっており、暫くして初日の出を拝むことができた次第です。まあ、“コロナ禍が終われば明るい日常がやってくる”と言うような今年の世相を反映したかのような日の出ではなかったでしょうか。いずれにしても、一日でも早く日常が帰ってくることを願うばかりです。

さて、昨年の年頭のこの項では、オリンピック開催の期待や、創業50周年の記念事業のことなどを書かせていただき、夢いっぱいスタートでしたが、全てがコロナで延期や中止となってしまいました。読み返すたびに、つくづくと人生何があるか分からないと痛感させられます。これまででは弊社の業界(建設業)においてはコロナ禍の影響はさほど受けてはいないようですが、飲食や旅行業界だけでなく製造業まで広い分野で、事業の継続を断念せざるを得ない事態も多く出ているようです。飲食業などで大きな影響を受けている業界の中でも、何とか継続できているお店の話や、固定客のお客様のお陰で支えられていると言っておられました。

弊社においても、今回のコロナ禍の影響を見ると、これからどのようなことが起こるか予想も付かず不安で一杯になります。ただこの事から教えられることは、日々の小さな事からでも、お客様との関係をキチンとしておくことが、引いてはどの様な事があっても事業を継続できる要点であることだと改めて痛感します。

これから私たちのスタッフにも新しい人が入り、少しずつ入れ替わりが進んでいくことと思います。その中で、弊社にとって一番大事な事とは何かをしっかりと継承していくことが私のこれからの一番大事な仕事だと再認識して、今年一年頑張っていきたいと思っています。(啓)

「住いの困った」は ゲイナンハウス 大竹店・廿日市店共に
フリーダイヤル0120-505-375 URL:<http://www.geinan-house.co.jp/>
最後までお読みいただき有難うございました、次回は4月頃の予定です。(啓)
*尚、この「住まいる通信」がご不要の方はご一報願います。送付を停止いたします。



寒波襲来！凍結修理100件以上
ホットラインの活用願います！



この部分が凍結で破損

浴室シャワー水栓

正月明けの寒波は当地大竹市でも9日に-4.9℃を観測され、2018年の-4.7℃以来の寒波となりました。私が入社した1980年以降ですと、1984年に-6.0℃の寒波があり、300件以上の対応をしたことを思い出します。その時は修理を待ちきれない人が事務所まで来て「うちの番はまだか？」と順番待ちを確認に来られるほどでした。今回はそれ程ではなかったのですが、寒波が成人式の連休の間に始まり、留守番電話には何十件もの修理依頼が入っておりました。

今回の寒波で皆様に気を付けていただきたい事例は、換気のために浴室の窓を開けていたために、浴室内の室温が下がり浴室内のシャワー水栓温度調節のハンドル部が凍結し破損した事例が数件ありました。浴室の換気のために毎晩浴室の窓を開けておられる方も多いかと思いますが、寒波の際には浴室の窓は開けず、換気扇にて換気をお願いします。

また、屋外の水栓に凍結対策をされたにもかかわらず、水栓以外の配管部などが経年による劣化で破損してしまったケースも多く発生していました。このような部位の凍結対策は簡単にできることではありませんので、蛇口を開けて少量の水を出しておく方法が良いと思われます。

前述しましたように、今回の寒波は休日に発生したため、一般電話は留守番電話での対応にしておりましたが、この「住まいる通信」を送らせていただいている皆様で、登録いただいている方からのホットラインには応急での対応をさせていただきました。左の写真のホットラインの記載されたマグネットが無い、又は登録したい方はご連絡いただきましたら対応いたしますので、ご一報のほど宜しくお願いします。(登録はご自宅に限ります)

最後に、水道が噴出してしまうと慌ててしまい、どこを閉めたらよいのか分からない方が多かったようです。水道メーターのボックスの中に止水栓がありますので、一度ご自分で水道を止めてみられるなどして、ご確認いただきますようお願いいたします。



ホットライン表示マグネット



スキーシーズン到来！



この通信を読んでおられる方の中にも、若い頃スキーを楽しまれた方も多くはないでしょうか？私もこの年になっても相変わらず、シーズンには何度かスキーを楽しんでおります。昨年は暖冬のためこれまでにないほど雪が降らず、ほとんどのスキー場が営業できなかった年となり、私も人工降雪機でのゲレンデを10回ほど滑っただけの寂しいシーズンとなってしまいました。

数年前までは、社内旅行で北海道や大山にスキーに行く程社内の何人かで楽しんでいましたが、それぞれ事情も変わり、とうとう一人でスキーに行く羽目となってしまいました。左の写真は正月休みに一人で恐羅漢スキー場に行った時の写真です。

若い時のように長い時間は滑れませんが、スキー人口が減ったおかげで、リフト待ちも少なく、3時間程度ゆっくり滑って爽快感を楽しんでおります。重力に逆らわないスポーツですので、何とか70歳台まで楽しみたいと思いつつ、けがをしないように楽しみます！(啓)



最近の施工事例から



トロンボーンのできる防音室にリフォーム！



着工前
正面の洋間(7畳)と右奥の納戸(3畳)を一間(10畳)にして、防音室にします。

今回の施工事例は、中古住宅の購入に併せて洋間と納戸を防音室にリフォームした事例です。ご主人は、広島を中心にトロンボーン奏者として活躍されておられる演奏家の方で、私とは趣味を通じての旧知の間柄。中古住宅の購入についても事前にご相談いただき、価格や住まいるの状況等を確認アドバイスをさせていただきました。

これまで施工してきた防音室は、ピアノや木管楽器などの使用が目的でしたが、今回は音量の大きい金管楽器。幸いにも近隣住戸が隣接していないこともあり、木造住宅でも寝静まる夜間以外なら大丈夫だろうと判断し計画・施工させていただきました。それでは、ご紹介いたします。



壁・天井
写真に見える吸音ウールの上に3層
壁：石膏ボード12.5mm+遮音パネル10mm+オトカベ(吸音)12.5mm+仕上げ材(珪藻土)
天井：石膏ボード12.5mm+遮音パネル10mm+オトデン(吸音)12.5mm



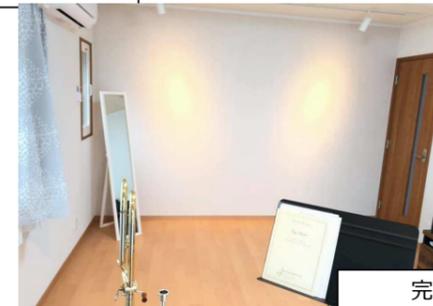
床
写真に見える吸音ウールの上に3層
合板12mm+遮音マット9mm+床下リッパ12mm



窓
既存の複層ガラスのサッシの内側に、複層ガラスの樹脂サッシを取付



気密遮音コーキング
パネルの隙間も、充填剤を注入。ジョイントボックスにもパテ材を入れて音漏れを防ぎます



完工

当初、玄関から直接入る計画で10畳より狭い部屋を想定していましたが、やはり金管楽器を吹くとなるとこの広さは欲しいと計画変更しました。完成後私もこの部屋で楽器を吹いてみると、10畳にしてよかったと実感。防音性能については、実際に部屋で楽器を吹いて確認したら、建屋内では間仕切りドアを防音ドアにしましたが、うるさいほどではありませんがそれなりに聞こえました。屋外では、防音室の外においては「少し音が聞こえるかな？」程度で、防音室の反対側では全く聞こえない程となり、お施主様共々私も満足できるレベルの部屋ができて一安心。(啓)